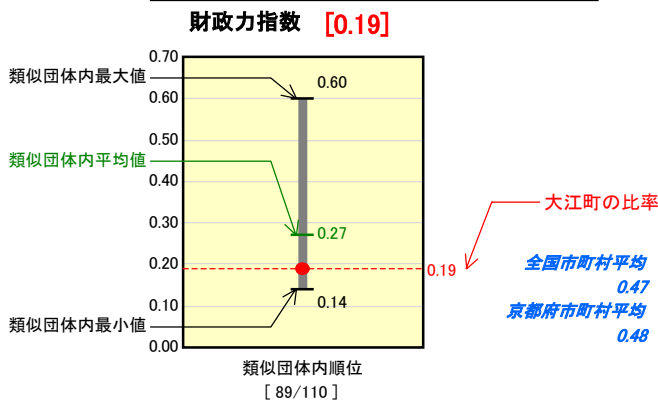


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

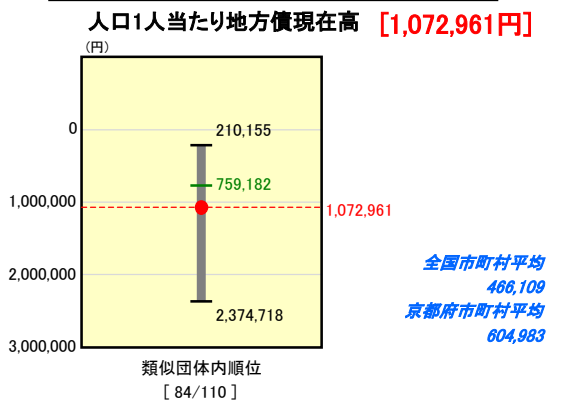
京都府 大江町

人口	5,659人(H17.3.31現在)
面積	96.81 km ²
歳入総額	5,406,183千円
歳出総額	5,154,888千円
実質収支	22,824千円

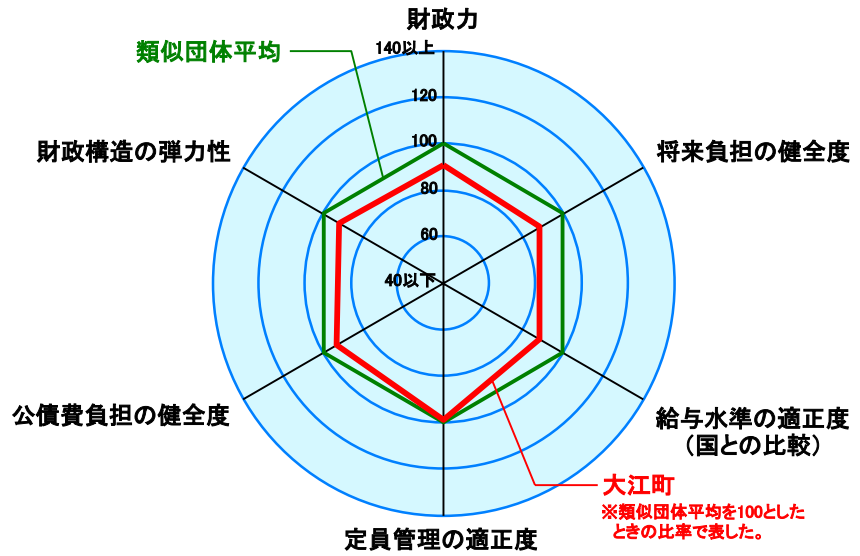
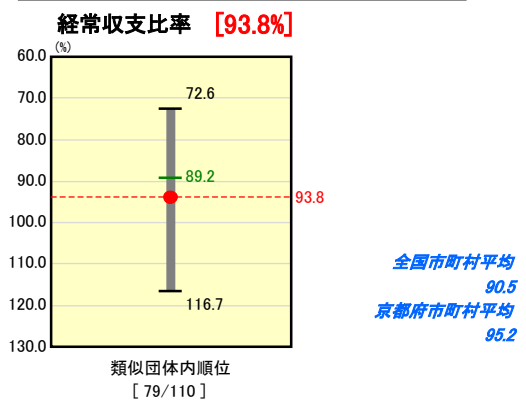
財政力



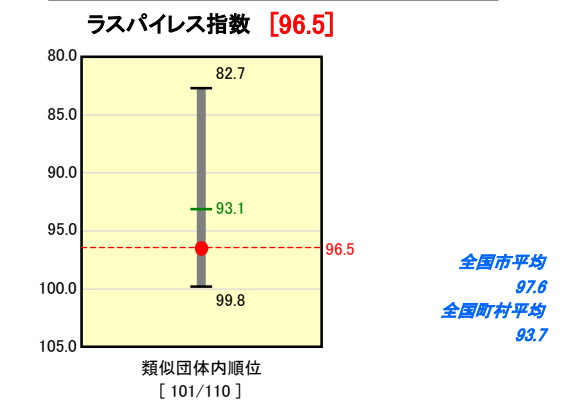
将来負担の健全度



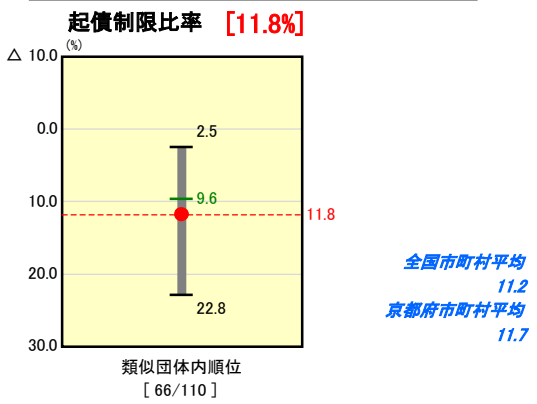
財政構造の弾力性



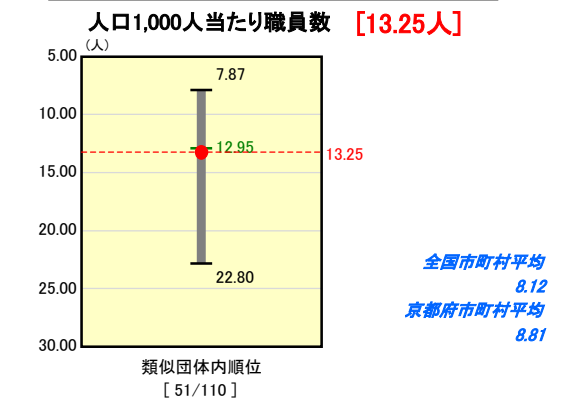
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

【財政力指数】
過疎化の進行による人口減に加え、基幹産業のない本町の財政力指数は常に0.2以下を推移しており、類団平均と比べても大きく下回っている。この脆弱な財政基盤の抜本的な強化を図るべく、平成17年度に福知山市、三和町、夜久野町の一市三町による合併を行ったところである。

【経常収支比率】
町税の伸び悩みに加え、三位一体改革の影響による地方交付税及び臨時財政対策債の減により、一般財源が大きく減額する一方、公債費をはじめ経常経費は増加傾向にあり、年々財政構造の硬直化が進んでいる。

【起債制限比率】
従来より、起債発行にあたっては発行総額の抑制とメニューの峻別により公債費負担の軽減を図ってきたが、16年度については過疎対策事業債の元利償還金が増加したため類似団体をやや上回る事となった。

【人口1人あたり地方債残高】
16年度は、台風23号災害の復旧事業や病院民営化対策事業などのために多額の事業費を要し、例年以上に起債発行額が増加したことから、地方債残高が大きく増加した。

【ラスパイレス指数】
職員の大半を高年齢層が占めていることに加え、一般職給の削減が未実施であるため、ラスパイレス指数は常に90台の後半を推移しており、類団比でもやや高くなっている。

【人口1,000人あたり職員数】
平成6年度から新規採用凍結と退職不補充により定員の適正化に取り組んでおり、ほぼ類団平均の数値となっている。